

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シーズメン

コード番号 3083 URL <http://www.csmen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 雅夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	4,900	△6.9	△67	—	△73	—	△69	—
25年2月期第3四半期	5,263	1.6	200	101.9	194	130.2	90	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	△87.97	—
25年2月期第3四半期	114.89	—

(注)当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は当該分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	4,055	2,133	52.6
25年2月期	3,753	2,223	59.2

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 2,133百万円 25年2月期 2,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,830	△6.9	12	△96.0	2	△99.3	△30	—	△37.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	975,000 株	25年2月期	975,000 株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	185,400 株	25年2月期	185,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	789,600 株	25年2月期3Q	789,600 株

(注)当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。これに伴い、株式数は当該分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、金融政策の効果もあり円安・株高基調に転じ、企業収益の改善傾向など、景気回復の兆しが見え始めております。一方で、個人消費につきましては、一部の高額消費が堅調に推移したものの、全般には節約志向が依然として強く、先行き不透明な状況が続いております。

衣料品小売業界におきましては、記録的な残暑や、度重なる台風の接近など天候不順の影響もあり、大変厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、販売面におきましては、人材の育成と活性化を図るため、販売体制の見直しを行いました。METHOD事業、流儀圧搾事業ともに、部長が一括して部門を指揮管理する体制から、各地区のリーダーに権限と責任を委譲し、若手のリーダーが自主性を発揮できる体制へと変更いたしました。また、METHOD事業では販売力の強化として、商品知識のレベルアップなど、販売業務の基本的な項目の徹底を行ない、流儀圧搾事業では女性客に対応した品揃えを強化し、客層の拡大を図ってまいりました。

しかしながら、第3四半期累計期間では、具体的成果を出すまでには到らず、また、天候不順の影響もあり、全社の売上高前年比は93.1%、既存店の売上高前年比は87.9%と前年を割り込む結果となりました。

商品面におきましては、売上高・荒利高の改善を図るため、商品力の向上に取り組んでまいりました。商品戦略会を設置し、毎月実施する商品発注会に主要な店長が参加することにより、現場の視点からの品揃え強化を図りました。また、商品の投入コントロールを強化することにより1坪当たりの在庫を前年より31千円削減の243千円とし、全社の在庫は前年より93百万円削減の984百万円となりました。しかしながら、計画通りに売上を伸ばすことができなかったこともあり、荒利率は49.4%と前年を1.1ポイント下回る結果となりました。

店舗戦略におきましては、「METHOD」3店舗、「流儀圧搾」4店舗、合計7店舗の新店を出店する一方で、「METHOD」1店舗を閉店いたしました。その結果、当第3四半期累計期間末の店舗数は「METHOD」42店舗、「流儀圧搾」32店舗「METHOD COMFORT」2店舗（アウトレット店）、「AGIT POINT」1店舗、「誓文払い」1店舗（アウトレット店）の合計78店舗となりました。

また、既存店の販売力の強化を図るため「METHOD」6店舗の改装を実施いたしました。

新規事業におきましては、前期の3月にスタートしたネット販売事業、および、前期の10月にスタートしたシンガポールの卸売事業も順調に推移しており、今後の成長を目指して育成してまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は49億円（前年同期比6.9%減）、営業損失は67百万円（前年同期比268百万円損失増）、経常損失は73百万円（前年同期比268百万円損失増）、当期純損失は69百万円（前年同期比160百万円損失増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①財政状態の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は25億96百万円となり、前事業年度末に比べ3億7百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の減少1億79百万円、売掛金の増加2億50百万円、商品の増加1億90百万円等によるものであります。固定資産は14億52百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産の増加49百万円、繰延税金資産の減少13百万円、敷金及び保証金の減少39百万円等によるものであります。

この結果、総資産は40億55百万円となり、前事業年度末に比べ3億1百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は13億15百万円となり、前事業年度末に比べ1億36百万円増加いたしました。これは主に支払手形の減少65百万円、未払法人税等の減少54百万円、買掛金の増加2億87百万円等によるものであります。固定負債は6億6百万円となり、前事業年度末に比べ2億54百万円増加いたしました。これは主に社債の増加2億円、長期借入金の増加76百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は19億21百万円となり、前事業年度末に比べ3億91百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は21億33百万円となり、前事業年度末に比べ90百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少1億1百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の業績予想及び配当予想を修正しております。本件につきましては、本日（平成25年12月26日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 2 月 28 日)	当第 3 四半期会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,184,313	1,005,177
売掛金	223,514	473,925
商品	794,008	984,516
繰延税金資産	41,687	91,457
その他	48,295	44,887
貸倒引当金	△3,076	△3,391
流動資産合計	2,288,742	2,596,573
固定資産		
有形固定資産		
建物	873,794	909,392
減価償却累計額	△561,094	△559,622
建物（純額）	312,699	349,770
工具、器具及び備品	180,106	239,539
減価償却累計額	△92,602	△123,825
工具、器具及び備品（純額）	87,503	115,714
建設仮勘定	16,257	500
有形固定資産合計	416,460	465,984
無形固定資産		
ソフトウェア	22,094	17,365
リース資産	57,840	36,150
その他	3,150	3,150
無形固定資産合計	83,084	56,666
投資その他の資産		
投資有価証券	62,379	79,200
長期貸付金	70,140	67,790
長期前払費用	11,146	11,608
繰延税金資産	34,844	21,044
敷金及び保証金	857,256	818,171
貸倒引当金	△70,140	△67,790
投資その他の資産合計	965,626	930,024
固定資産合計	1,465,171	1,452,675
繰延資産		
社債発行費	—	5,838
繰延資産合計	—	5,838
資産合計	3,753,914	4,055,086

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 2 月28日)	当第 3 四半期会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	117,241	51,842
買掛金	192,297	480,203
短期借入金	220,000	220,000
1年内償還予定の社債	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	184,892	165,500
リース債務	31,584	29,077
未払費用	171,947	238,846
未払法人税等	60,717	6,193
賞与引当金	54,300	26,300
役員賞与引当金	10,460	—
設備関係支払手形	38,677	14,552
資産除去債務	7,161	13,848
その他	89,648	19,053
流動負債合計	1,178,927	1,315,417
固定負債		
社債	—	200,000
長期借入金	140,002	216,883
役員退職慰労引当金	31,565	31,565
リース債務	24,579	3,488
資産除去債務	155,088	154,196
固定負債合計	351,235	606,132
負債合計	1,530,162	1,921,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	245,000	245,000
資本剰余金	415,193	415,193
利益剰余金	1,699,899	1,598,857
自己株式	△150,446	△150,446
株主資本合計	2,209,645	2,108,604
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,106	24,932
評価・換算差額等合計	14,106	24,932
純資産合計	2,223,752	2,133,536
負債純資産合計	3,753,914	4,055,086

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年11月30日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年11月30日)
売上高	5,263,189	4,900,308
売上原価	2,607,418	2,479,231
売上総利益	2,655,770	2,421,076
販売費及び一般管理費	2,454,877	2,488,434
営業利益又は営業損失 (△)	200,893	△67,357
営業外収益		
受取利息	1,467	1,259
受取配当金	445	441
貸倒引当金戻入額	1,795	2,034
固定資産処分益	2,000	—
その他	1,063	122
営業外収益合計	6,771	3,858
営業外費用		
支払利息	13,236	10,001
その他	153	482
営業外費用合計	13,390	10,483
経常利益又は経常損失 (△)	194,273	△73,982
特別損失		
固定資産除却損	9,015	8,106
店舗閉鎖損失	—	105
減損損失	22,496	18,102
その他	741	—
特別損失合計	32,253	26,314
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	162,019	△100,296
法人税、住民税及び事業税	18,485	11,125
法人税等調整額	52,820	△41,965
法人税等合計	71,305	△30,839
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	90,714	△69,457

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。